



本会記事

■女子中高生夏の学校 2021 (オンライン)への貢献

芦川直子 (核融合科学研究所)

女子中高生夏の学校 2021 (オンライン) が開催され、2021年8月9日に実施されたポスター・キャリア相談に米田仁紀、芦川直子、齋藤真貴子が参加しました。昨年の完全オンラインでの実施に続き、今年はオンサイトとオンラインのハイブリットで実施され、一部の実験実習は参加人数制限を踏まえてオンサイト実施、本学会が参加したポスター・キャリア相談はオンラインで実施されました。申込者数約200名に対して、抽選を経て約130名の生徒が参加しました。本学会の男女共同参画委員会では、キャリア相談への展示対応を継続して行っています。

新型コロナ禍であった昨年もオンラインでキャリア相談は実施されましたが、展示方法は昨年と大きく異なるもので、ほぼ全ての資料を新たに準備しました。まず、WEB上にバナー(図1)が準備され、ページ上に36企画(注:学会と企業からの出典)のバナーが並びました。この様子は、手法を変えて新型コロナ禍以前にオンサイトでポスター展示が並んでいた様子を再現しているようで、見栄えする方法でした。また、ポスター展示は基本フォーマットの指定があり、A4サイズのページ送り方式で準備しました。さらに、45秒間の動画提供の依頼がありました。バナーのみを集めた動画集、および各企画が作成した45秒動画集、いずれも参加する生徒さんらが申し込みから当日まで興味を持ち続けてもらうために企画された内容で、正直なところ準備をする立場としては大変でしたが、WEB上に掲載された動画集は私達が見ても十分楽しめるものでした。例えば、45秒という短時間の

動画集は、企画毎に内容が全く異なり、特定の研究者自身を中心にした内容、学会等のイメージに主眼を置いた内容、研究内容を主にした内容等、多岐にわたりました。

本学会から提供した動画は、最近のITER建設の進展を主眼に置き、ちょうど三菱重工からトロイダル磁場コイルの納品やトカマクホールでの組み立てが開始されている時期であるため、関連する写真をアップしつつITERの大きさと実験開始時期のアピールをしました(図2)。夏の学校スタッフからは、ITERの写真に対して好印象の感想をいただきました。

当日は、ZOOMのブレイクアウト機能を利用し、15分毎に訪れる生徒を入れ替える方式で実施しました。運営側が多数の生徒さんの配置を同時に行うと共にZOOMに慣れていない生徒もいるため、どうしても遅れてルームに参加する生徒さんが発生し、実際の会話に使用できる時間は15分もない状況は生じました。今年は、各ルーム内での運用に関する事前指示は無かったのですが、昨年の方式を踏襲して最初にこちらからポスターを使って数分の話提供を行い、その後一人ひとりから質問を受ける方式にしました。今回あった質問は、原子力発電と核融合発電の違い、核融合発電の危険性、キャリアパスについてです。当ルームを訪問した生徒は高校生で、特に今年は高校3年生が多い傾向にありました。

従来のようなオンサイトで実施では、生徒に対する説明を複数のスタッフによって同時並行が出来、また対面時間の目安は同程度ですが個々の事例に応じて多少の時間のやりくりが出来ましたので、時間的な余裕もった対話が可能でした。しかし今回の企画では(仕方がないことなのですが)時間通りにZOOM接続を切る必要があるため、かなりあわただしく実施されました。そのフォローとして最後に20分の自由対面時間があり、これは良い方法でした。

資料の作成では、ITER国内広報担当者にポスターや動画で使用したITER関連写真の確認についてご協力頂き



図1 女子中高生夏の学校(オンライン)、ポスター・キャリア相談のWEBサイトの一部。下段左から2番目が、プラズマ・核融合学会のバナーです。

女子中高生へのメッセージ



図2 短時間での説明になるため、今回はインパクト重視でITER装置の大きさが分かる内容にしました(図・写真はITER機構提供)。

欧州(イタリア)と共同で加熱ビーム装置を開発中



図3 柏木美恵子氏が開発に携わるITER中性粒子ビーム入射加熱装置(図・写真は量研機構提供)。

ました。これまでのオンサイト実施の際にはITERのバーチャル装置も持参いただいたので、ぜひオンサイト実施が再開された際には生徒さんらが再度これらを楽しむ日が来ることを心待ちにしています。また、量研機構・柏木美恵子氏が第5回国立研究開発法人イノベーション戦略会議でご講演された「コロナ禍でも進む核融合国際プロジェクト：オンライン監督による超高電圧装置の試験に挑戦」(WEBサイトで動画を閲覧可能)と補足資料として写真数点をポスターに盛り込みました(図3)。この講演はITER中性粒子ビーム入射加熱装置の開発のみならず、イタリアと日本との間でリモート研究を行う工夫や雰囲気がよく分かるので、基礎知識の有無にかかわらず楽しめる内容になっています。該当動画については、

今後本学会の「核融合・プラズマに興味のある皆さんへ」WEBページにもリンク掲載する予定です。

準備した資料の一部は本学会のWEBサイト内で閲覧できるようにいたしますので、ご興味がありましたら是非ご覧ください。

女子中高生 夏の学校 2021

<https://natsugaku.jp/category/夏学2021/>

プラズマ・核融合学会「核融合・プラズマに興味のある皆さんへ」

<http://www.jspf.or.jp/genderequality/poster/>

(原稿受付：2021年9月14日)